



セ プ タ ー カ ウ ン シ ル

「重要インフラ連絡協議会（CEPTOAR-Council）」（仮称）
創設に向けた検討状況について

2008年7月18日

内閣官房 情報セキュリティセンター（NISC）

重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画 セプターカウンスル
4. 情報共有体制の強化 (3)「重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council)」(仮称)

ア 分野横断的な情報共有の場の創設

○我が国全体としての重要インフラの情報セキュリティ対策をより一層強化していくためには、重要インフラ事業者等において、分野横断的な情報共有の推進を図り、多様な知見をサービスの維持・復旧に活かしていくことが重要である。このため、各CEPTOAR間での横断的な情報共有の場として「重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council)」(仮称)を創設する。

イ 重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council) (仮称)の構成及び機能

○「重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council)」(仮称)は、それぞれの分野に整備されたCEPTOARの代表で構成される協議会とし、各重要インフラ分野ごとのサービスの維持・復旧に係る情報のうち、複数の重要インフラ分野に共通するもの、及び分野を越えたベストプラクティス等の共有を行うものとする。

セプター
*CEPTOAR(情報共有・分析機能): Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response

セキュア・ジャパン2007

◆「重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council)」(仮称)創設の検討 (内閣官房及び重要インフラ所管省庁)

2007年度中に重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council) (仮称)の創設についての基本的合意を得るべく、検討の場を開催し課題についての検討を進める。

セキュア・ジャパン2008

◆「重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council)」(仮称)創設の検討(内閣官房及び重要インフラ所管省庁)

「重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council)」(仮称)創設に向けた検討の場における協力のもと2007年度にとりまとめた「重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council)」(仮称)の創設についての基本的な考え方」に基づき、各重要インフラ分野のCEPTOARの協力を得て、2008年6月を目処に「重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council)」(仮称)創設準備会を設置する。同準備会において2008年度中に「重要インフラ連絡協議会 (CEPTOAR-Council)」(仮称)の創設を目指す。

「創設準備会」の概要

「創設準備会」の設置

◆2008年度末迄に「連絡協議会」の創設を目指し、各CEPTOARで選出した者が具体的な活動内容等について、CEPTOAR内及びCEPTOAR間の調整を行うとともに、創設に向けた準備を行うことを目的とした「創設準備会」を2008年7月14日に設置。

開催状況

- ◆「創設準備会」第1回会合と同日に、下部組織であるワーキンググループ第1回会合を開催。
- ◆今年度内に「創設準備会」は3回程度、ワーキンググループは6回程度の開催を予定。

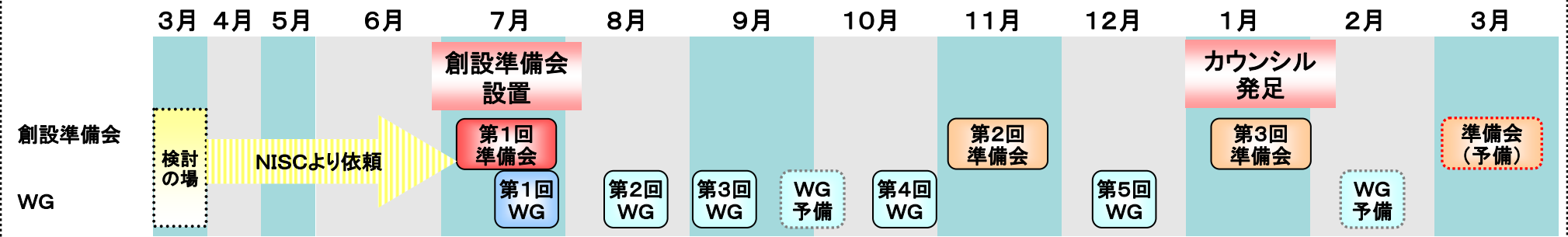
「創設準備会」構成員

セプター
◆CEPTOARで選出した者。(重要インフラ10分野、13CEPTOAR)

「創設準備会」オブザーバ

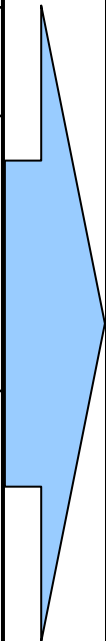
- ◆構成員選出未了の1 CEPTOAR(放送における情報共有体制)
- ◆重要インフラ所管省庁(金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省)
- ◆構成員の了解を得た者。(構成員の随行者等)

<「創設準備会」とWGの想定スケジュール>



(注)「連絡協議会」:「重要インフラ連絡協議会(CEPTOAR-Council)」(仮称)
「創設準備会」:「重要インフラ連絡協議会(CEPTOAR-Council)」(仮称)創設準備会

「創設準備会」の活動 (「創設準備会」設置要綱(案)より抜粋)	「創設準備会」での議事	ワーキンググループでの議事
(1)「連絡協議会」の設置要綱の策定	◆「連絡協議会」設置要綱の承認	◆「連絡協議会」設置要綱(案)の作成
(2)「連絡協議会」への参加CEPTOARのとりまとめ	◆各CEPTOARからの参加表明のとりまとめ	◆重要インフラ事業者等が提供する実際の事故の原因情報、取り組み事例等」の試行的共有の実施 ◆試行的共有の効果確認 ◆来年度の活動方針作成
(3)「連絡協議会」が創設当初に取り組む活動の試行 ・分野横断的な情報共有の推進を図るために、IT障害の未然防止の観点から相互理解及びベストプラクティス等具体的な事例の情報共有に試行的に取り組む。	◆活動についての検討、とりまとめ	
(4) 将来の活動としての検討 以下の活動について、必要性の検討を行い、必要性が認められれば、具体化に向けた検討を深める。 ①重要インフラのIT障害の未然防止等のため、重要インフラ事業者等に密接に関連する情報を、内閣官房情報セキュリティセンター等より重要インフラ事業者等へ提供する体制の調整及び管理に取り組む。 ②分野横断的な対応が必要な共通課題の解決に、各CEPTOAR及び内閣官房情報セキュリティセンターが連携して取り組む。	◆①活動についての検討、見極め	◆「情報の取扱いに関するルールの整合性を図ること」により検討 ◆ニュースレターの試行による共有する情報の具体化の検討
	◆②活動についての検討、見極め	◆情報セキュリティ政策会議等におけるセプターカウンシルへの期待等を踏まえた検討



(注)「連絡協議会」:「重要インフラ連絡協議会(CEPTOAR-Council)」(仮称)
「創設準備会」:「重要インフラ連絡協議会(CEPTOAR-Council)」(仮称)創設準備会

「創設準備会」第1回会合

◆「創設準備会」設置要綱

- 「創設準備会」設置要綱の承認を行った。
- 「創設準備会」設置要綱について重要インフラ専門委員会へ報告することとした。

◆「創設準備会」の作業スケジュール・議事の確認

- NISCが想定している作業スケジュール及び「創設準備会」・ワーキンググループにおける議事について確認した。

◆「連絡協議会」設置要綱骨子(案)の確認

- 「連絡協議会」設置要綱骨子(案)についての議論を行った。

ワーキンググループ第1回会合

◆「連絡協議会」設置要綱(案)

- 11月の「創設準備会」へ報告するべく、「連絡協議会」設置要綱骨子(案)の検討を開始した。

◆「連絡協議会」が創設当初に取り組む活動の試行

- 分野横断的な情報共有の推進を図るために、CEPTOAR等における取り組み事例等の発表を行い、意見交換を行った。

◆将来の活動としての検討

- NISCが想定している以下の活動について議論が行われた。
 - 情報の取扱いに関するNISCと各セプターの意識調整を行い、情報の取扱いルールの整合性を図る。
- 「ニュースレターの試行」について議論が行われた。

(注)「連絡協議会」:「重要インフラ連絡協議会(CEPTOAR-Council)」(仮称)
「創設準備会」:「重要インフラ連絡協議会(CEPTOAR-Council)」(仮称)創設準備会